

山歩No.72 厳冬の鎌ヶ岳独り



～三重県三重郡菰野町～

20代の終わり頃、2月厳冬期に毎年のように鈴鹿山系鎌ヶ岳に足を運んだものだ。比較的積雪が少ないことや、登山口までのアクセスが冬季でも良いこと。下山路に武平峠から鈴鹿スカイラインを利用すれば、徒歩で安全に下れることなどがその理由だった。

三ツ口谷からほぼ直登するように頂上直下の稜線に至る最短ルートは、厳冬期には沢を覆う足跡一つない道、アイゼンの前歯を突き立てて…ちょっとスリルを味わえる凍った滝、稜線直下の急斜面では北西風に舞い上がった細かい雪片が太陽の光を浴びて耀く。頂上までは殆ど人に出会うこともなく、この大自然の美しさを独り占めできる。

それも、今は昔。冬季は雪には縁のない近隣の低山を徘徊し、時々古い写真を懐かしむだけである。左の写真は冬の御在所岳から鎌ヶ岳を撮ったもの。

2018年2月1日掲載（2003年12月24日撮影）